

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—		
事業毎の通番		10	市町村名	白馬村	箇所名(ふりがな)	大ナキ(おおなき)		
事業概要	事業目的	平成26年11月22日の神城断層地震により白馬村嶺方沢左岸において、既存の崩壊地の拡大崩壊が発生、一部が嶺方沢まで流出した。崩壊地直下には多量の不安定土砂が堆積しており、豪雨等により土石流が発生、嶺方沢沿いを通過している国道第406号が被災する危険性があるため、対策を実施、通行車両の安全の確保を図りたい。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	国道第406号2,000m、村道3路線300m						
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.19	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	谷止工2個、山腹工0.50ha			211,000	105,500	94,950	10,550
	年度事業内容(主な工種)				0	0	0	0
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	国道第406号等への土石の流出防止					
		間接的効果(定量的・定性的)	国道第406号等の通行の安全確保					
評価の視点	必要性	○人家戸数:	なし				評価	
		○公共施設数:	国道第406号、村道3路線					
	重要性	○災害時要援護者関連施設の有無:	なし				評価	
		○保安林・林業用施設:	保安林100%					
		○過去の災害履歴:	平成26年11月22日神城断層地震災					
		○交通遮断による地域経済への影響:	国道第406号、村道3路線					
効率性	○費用便益比(B/C):	1.19				評価		
	○事業期間:	平成27~30年度						
	○工法等の比較検討:	谷止工基礎工法						
緊急性	○流域の総合調整:	なし(治山事業のみ)				評価		
	○流域の地形、地質:	第3紀砂岩、礫岩						
	○平均渓床勾配(平均山腹勾配):	渓床10°以上 山腹30°以上						
計画熟度	○下流の堰堤等の整備状況:	S43既設満砂谷止工2個あり				評価		
	○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:	山地災害危険地 Cラン						
	○事業情報の共有:	白馬村へ周知済						
部意見	H26年11月神城断層地震に起因する斜面崩壊により大量の不安定土砂が生じた。豪雨時に国道へ流出する恐れがあることから、早急に対策を行う必要がある。	行政改革課意見	重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	総合評価			
				○	B			

**位置図**

**赤色立体図**

**事業概要説明図表**

**計画地全景**

**①嶺方沢合流点付近の状況**

**②H27谷止工計画地**

**事業周辺環境**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成26年11月22日の神城断層地震後の地元及び建設事務所の国道第406号のパトロールにおいて、当該地から濁り水が流出しているのが確認され、村から事業要望が行われた。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元要望にもとづき、白馬村から要請されている。
③事業説明等の経緯	白馬村に公共治山事業新規計画をたてる旨の説明を行った。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	嶺方集落から白馬村役場方面への通行を確保する。
⑥地域活性化への影響と配慮	白馬村と長野市鬼無里を結ぶ国道第406号を利用する観光客等の確保を図る。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 40' 25"
	東経:E 137° 52' 46"